

「メルパーク札幌」の存続を求める意見書

日本郵政公社は、来年 10 月の民営化に向け準備を進める中、全国 8 箇所の郵便貯金会館等（メルパーク札幌を含む）について、来年 3 月をもって閉鎖する方針を打ち出した。

メルパーク札幌は、郵政事業と地域社会とをつなぎ、都市生活の利便を図る施設として、昭和 49 年に開設され、以来 32 年間にわたり、地元区民のみならず広く札幌市民に親しまれ利用されてきた。

当施設は、中央区唯一の公設プールとして、幼児から大学生に至るまで定期的にスクールを開講し、「こどもの居場所づくり」の役割を果たすとともに、障がい者のリハビリや中・高齢者の健康増進施設として、今後とも大きな社会貢献が期待されている。

よって、政府においては、メルパーク札幌の必要性を十分に勘案し、日本郵政公社に、現在提案している方針を見直し、当分の間、施設を存続させるよう強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出する。

平成 18 年（2006 年）12 月 13 日

札幌市議会

（提出先）内閣総理大臣、総務大臣

（提出者）全議員